

BECC JAPAN 2016 口頭発表者の皆様へ

BECC JAPAN 2016 開催にあたり、口頭発表頂く皆様に、下記の通りご案内いたします。大変お手数ですがご確認いただきますようお願い申し上げます。

1. 会場へのアクセス

慶應義塾大学三田キャンパス南校舎へのアクセスにつきましては、P3~4の地図等をご覧ください。

2. 本会議当日朝の受付および開会について

受付（5階南校舎ホール前）は午前9時30分から、開会は10時からとなります。会場前に設置しております受付用カウンターにて受付頂き、名札をお受け取り下さい。本会議翌日の施設見学会に参加予定の方につきましては、受付時にあらためて出欠の確認をさせていただきます。

3. 発表資料について

当日、各セッション会場にはノートPC、プロジェクタを用意しております。発表用の資料データは当日各自USB等でご持参いただき、基調講演終了後（11時40分）から会場に控えております事務局担当者にお渡しください。

PCをご持参いただいた場合は、事務局で用意しましたUSBへコピーさせていただきます。

なお、会場での資料の印刷・コピーはできませんのであらかじめご了承ください。

4. 発表資料の公開について

会議終了後に発表いただいた資料をWEBサイトにて公開させていただきます。ただし、先般もご案内いたしました通り、①各発表者は発表資料の公表・非公表を選択可能であること、②公表資料は会議当日の発表資料と一部異なるものでも構わないとすること、を前提といたします。会議終了後にあらためてご案内させていただきます。

5. セッション会場への移動と発表時間厳守のお願い

すでにご案内の通り、本会議は午前が南校舎ホールにて、午後は合計28の口頭発表及びライトニングセッションを2つの会場での同時進行で行われます。セッション開始時間等をあらかじめご確認いただき、速やかな会場間移動と発表準備をお願いいたします。

また、発表時間につきましても時間厳守にご協力いただき所定時間内でのご発表をお願いいたします。発表時間は20分、質疑応答時間は5分でございます。なお、発表時間につきましては、終了時間5分前、3分前と終了時、質疑応答終了時にベルを鳴らします。

セッション間での十分なインターバルもないため皆様には大変お忙しいタイムスケジュールでご迷惑おかけいたしますが、会議のスムーズな進行にご協力賜りますようお願いいたします。

6. ランチについて

慶應義塾大学西校舎地下1階に「生協食堂」（営業時間 11:00～14:00）、西校舎中階に「山食」（営業時間 10:30～14:00）がございますので、ご利用ください。また、慶應義塾大学三田キャンパス近くには、レストランが複数ございますので併せてそちらをご利用ください。

なお、教室内および南校舎ホール内は飲食禁止でございますので、ご協力をお願いいたします。
ペットボトルの水・お茶はお飲みいただけます。

午後のセッションの発表者の皆様につきましては、早めに会場にお集まりいただけますようお願いいたします。

7. 交流会について

交流会（立食パーティー形式）は18時～19時30分までとなっております。交流会に参加される方は本会議終了後、4階カフェテリアへのご移動をお願いいたします。

8. 当日の緊急時等連絡先

・事務局連絡先

篠：090-9150-9339、jyukankyo@docomo.ne.jp

以上

省エネルギー行動研究会事務局

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-29

紀尾井町アークビル3階 住環境計画研究所内

担当：平山、玄、篠、齋藤

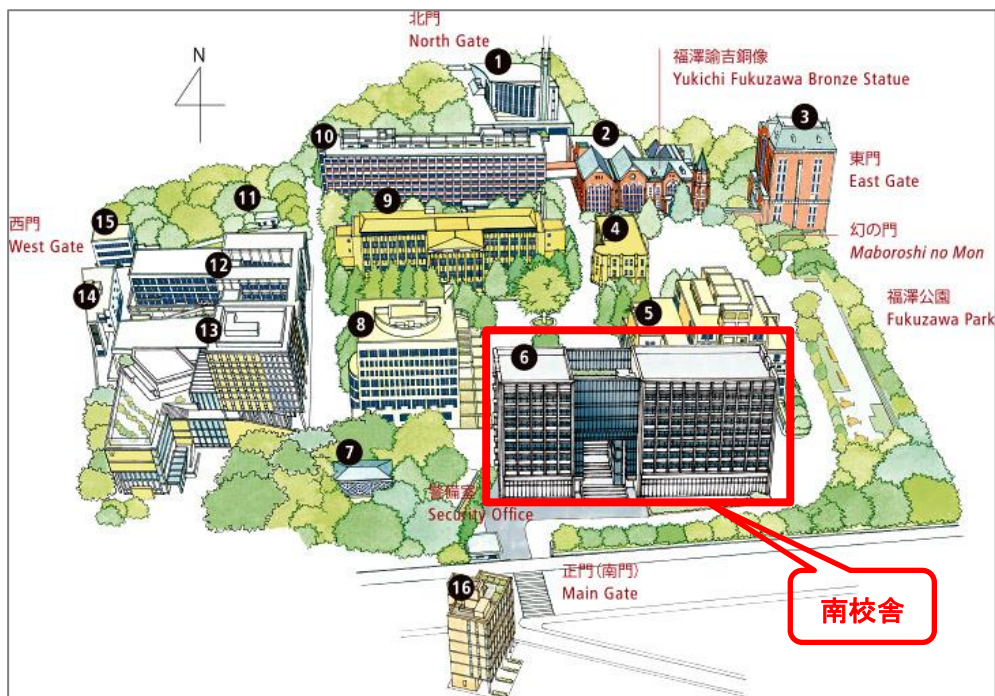
Tel 03-3234-1177 / Email: info@seeb.jp

【会場へのアクセス】

慶應義塾大学 三田キャンパス 南校舎 (<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>)

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

【TEL】 03-5427-1517



- 【1】 北館：大会議室、ホール、ファカルティクラブ
- 【2】 図書館旧館：大会議室、小会議室
- 【3】 東館：ホール、G-SEC Lab
- 【4】 塾監局
- 【5】 図書館
- 【6】 南校舎：411-477、ホール、学生食堂（ザ・カフェテリア）
- 【7】 三田演説館
- 【8】 大学院校舎：311-375B
- 【9】 第一校舎：101-147
- 【10】 研究室棟
- 【11】 労働組合本部
- 【12】 西校舎：501-545、ホール、学生食堂（生協食堂、山食）
- 【13】 南館：2B11-2B42
- 【14】 購買施設棟：生協購買部
- 【15】 西館
- 【16】 南別館：アート・スペース

【会場レイアウト図】

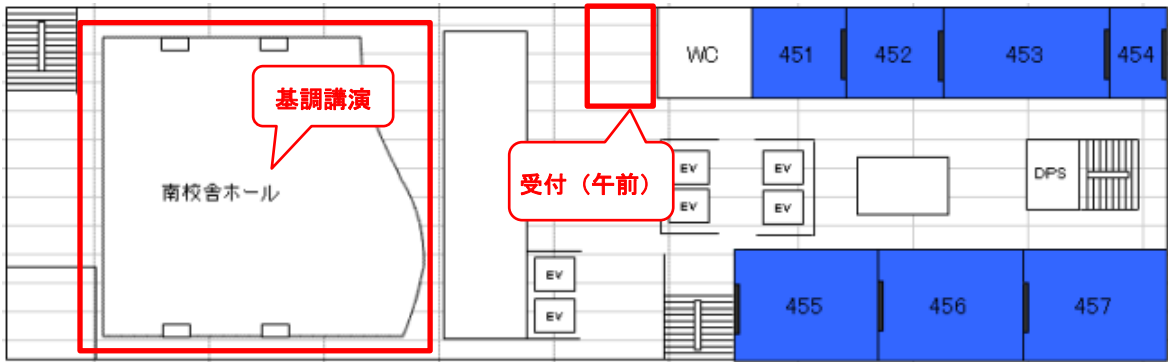


図 1 三田キャンパス南校舎 5F 平面図

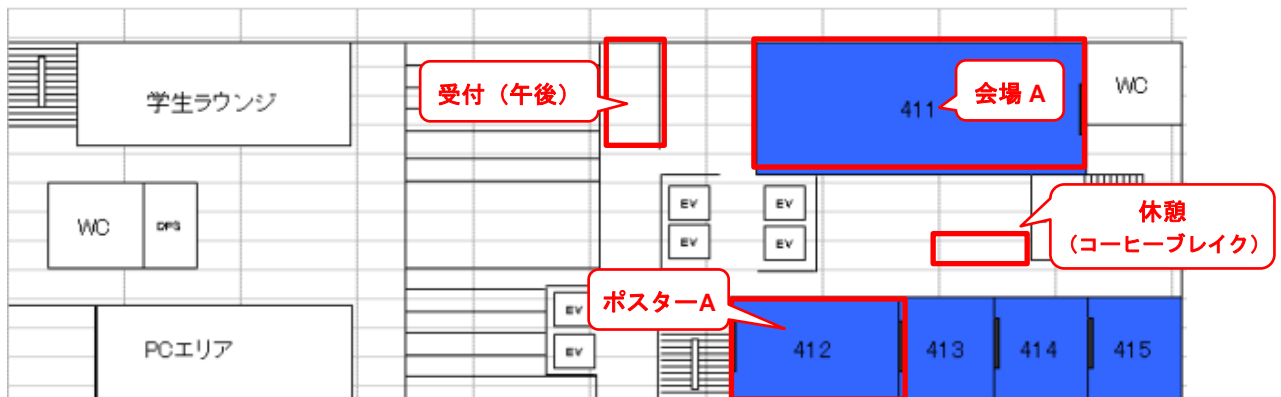


図 2 三田キャンパス南校舎 1F 平面図

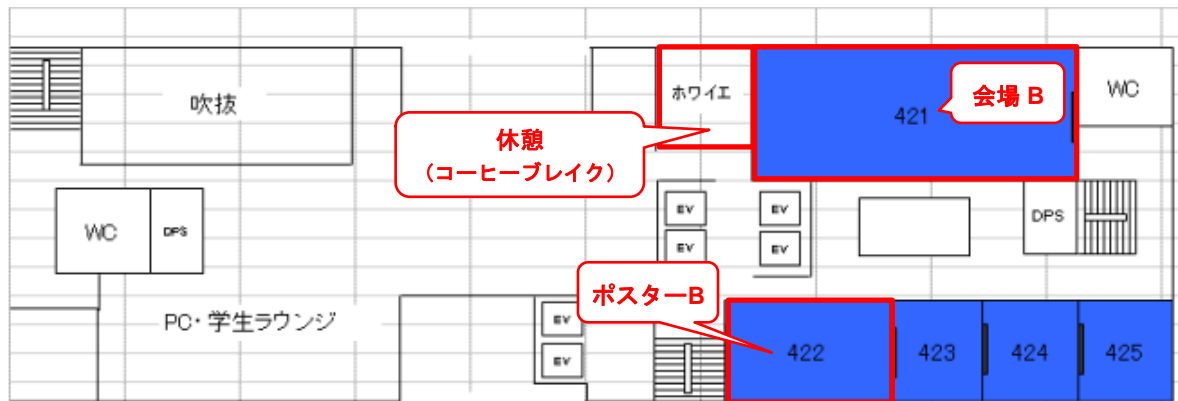


図 3 三田キャンパス南校舎 2F 平面図



図 4 三田キャンパス南校舎 4F 平面図

【全体スケジュール】

9月6日（火） 本会議：慶應義塾大学 三田キャンパス 南校舎（東京都港区）

時間	プログラム	
9:30～10:00	受付開始	
10:00～10:05 (5分)	開会挨拶 (5F 南校舎ホール) 省エネルギー行動研究会 会長 中上英俊	
10:05～10:20 (15分)	来賓挨拶 (5F 南校舎ホール) 経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー課長 吉田 健一郎 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課長 松澤 裕 国土交通省 住宅局 住宅生産課 建築環境企画室長 山下 英和	
10:20～11:40 (80分)	基調講演「IoTと省エネルギー行動」(5F 南校舎ホール) 東京大学大学院 情報理工学系研究科 江崎 浩 教授	
11:40～12:10 (30分)	ランチ休憩 (各自)	
12:10～13:00 (50分)	ポスターセッション A (412 教室)	ポスターセッション B (422 教室)
13:00～14:40 (100分)	セッション 1A (会場 A/411 教室) ※25分/発表×4人	セッション 1B (会場 B/421 教室) ※25分/発表×4人
14:40～15:00 (20分)	コーヒーブレイク	
15:00～16:15 (75分)	セッション 2A (会場 A/411 教室) ※25分/発表×3人	ライトニング 2B (会場 B/421 教室) ※10分/発表×7人
16:15～16:25 (10分)	コーヒーブレイク	
16:25～17:40 (75分)	セッション 3A (会場 A/411 教室) ※25分/発表×3人	ライトニング 3B (会場 B/421 教室) ※10分/発表×7人
17:40～17:45 (5分)	クロージング (会場 A/411 教室)	クロージング (会場 B/421 教室)
18:00～19:30 (90分)	交流会 (4F カフェテリア)	

9月7日（水） 施設見学会：楠公レストハウス（東京都千代田区）

時間	プログラム
10:00-10:30 (30分)	受付(楠公レストハウス入口)
10:30-10:35 (5分)	主催挨拶 株式会社 住環境計画研究所 取締役・研究所長 鶴崎 敬大
10:35-10:45 (10分)	楠公レストハウスの施設および取り組み紹介 一般財団法人 国民公園協会 皇居外苑 業務部長 岡本 栄治
10:45-11:30 (45分)	ワークショップ:ゲーミング・シミュレーションを用いた住宅リフォーム体験とその意義 慶應義塾大学文学部教授/博士(心理学) 杉浦 淳吉
11:30-12:30 (60分)	講義:江戸時代との比較による省エネ行動の知恵 東京家政大学ヒューマンライフ支援センター/博士(学術) 三神 彩子 体験:江戸時代の食文化体験“江戸エコ行楽重” 一般財団法人国民公園協会皇居外苑 総支配人・総料理長 安部 憲昭

【詳細プログラム】

(1) 口頭発表セッション（発表 20 分＋質疑応答 5 分）

1A	省エネルギー行動と意思決定 司会：杉浦 淳吉（慶應義塾大学 文学部 教授）
	1A-1 省エネ行動の実践度と省エネ機器の選択における意思決定 天野 晴子（日本女子大学 家政学部 教授）
	1A-2 新築戸建て住宅における住宅設備・性能の導入に関する研究－施主の属性と住宅取得時の選択影響要因を観点に－ 前 真之（東京大学 工学部建築学科 准教授）
	1A-3 新築マンション居住者に対する入居前後のアンケート調査結果－家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究 その1－ 坊垣 和明（東京都市大学 名誉教授）
	1A-4 省エネ行動を実施していない理由は？ －都民に対するアンケート調査結果－ 諏佐 あゆみ（公益財団法人東京都環境公社 東京都地球温暖化防止活動推進センター）
1B	家庭における省エネルギー行動変容促進策 司会：団栗 知男（省エネルギー行動研究会）
	1B-1 ホームエネルギーレポートによる消費者の意識・行動の変容と省エネルギー効果：日本初のホームエネルギーレポート大規模実証試験から 平山 翔（株式会社 住環境計画研究所 主任研究員）
	1B-2 日々の生活行動の違いに着目した省エネアドバイス実証 小澤 暁人（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 研究員）
	1B-3 デマンドレスポンスによる需要家行動の経時変化に関する考察 辻本 将晴（東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授）
	1B-4 室内外環境の見える化システム構築に関する研究 中島 裕輔（工学院大学 建築学部 教授）
2A	省エネルギー行動啓発の実践方法 司会：江口 俊一（省エネルギー行動研究会）
	2A-1 省エネ行動の普及に向けたゲーミング・シミュレーションの開発と展開 杉浦 淳吉（慶應義塾大学 文学部 教授）
	2A-2 外食など中小規模チェーンにおける省エネルギー行動を伴う運用改善の実践と継続について 長島 守（株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ エネルギーリテラシー推進室 室長）
	2A-3 省エネルギー行動を誘発する POP の効果 糸井川 高穂（宇都宮大学 地域デザイン科学部 助教）
3A	事業所における省エネルギー行動変容促進策 司会：坊垣 和明（東京都市大学 名誉教授）
	3A-1 人工知能（AI）アルゴリズムを用いた省エネアドバイスの自動生成に関する考察 熊沢 拓（ミツイワ株式会社 マーケティング本部）
	3A-2 中小事業所向け省エネアドバイス自動生成ツールの改善検討 小松 秀徳（電力中央研究所 システム技術研究所 主任研究員）
	3A-3 オフィスビルを対象にした BEMS の ADR の効果実証について 牛房 義明（北九州市立大学 経済学部 准教授）

(2) ライトニングセッション（発表7分＋質疑応答3分）

	<p>ライトニング：政策・消費者意識・教育 司会：天野 晴子（日本女子大学 家政学部 教授）</p>
2B	<p>2B-1 省エネルギー対策におけるリバウンド効果と日本への示唆 向井 登志広（電力中央研究所 社会経済研究所 主任研究員）</p>
	<p>2B-2 政府の省エネ予算は適切に使われているかー日米の予算比較と行動変容プログラムへの示唆ー 木村 幸（電力中央研究所 社会経済研究所 主任研究員）</p>
	<p>2B-3 函館山の夜景 LED 化サポート意思額の規定因：環境配慮行動からのアプローチ 小林 翼（北海道大学大学院 文学研究科 修士）</p>
	<p>2B-4 地球温暖化についての政府と生活者との間のコミュニケーションのこれからの方向性ー有識者座談会の結果報告ー 小山田 和代（みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー第1部）</p>
	<p>2B-5 家庭における親子の省エネルギー意識・行動の実態に関する研究 高田 宏（広島大学大学院 教育学研究科 准教授）</p>
	<p>2B-6 日本型省エネ教育モデルとしての『省エネ行動スタート BOOK』の開発 松葉口 玲子（横浜国立大学 教育人間科学部 教授）</p>
	<p>2B-7 エネルギー環境教育から見る省エネ教育のあり方ー次世代に向けたエネルギー環境教育を通してー 庄司 武（東京ガス株式会社 学校教育情報センター 所長）</p>
	<p>ライトニング：HEMS・デマンドレスポンス・住宅選択・ICT 司会：前 真之（東京大学 工学部建築学科 准教授）</p>
3B	<p>3B-1 HEMS データを活用した家庭用エネルギー診断の効果 八木田 克英（東京大学 生産技術研究所 エネルギー工学連携研究センター）</p>
	<p>3B-2 大規模電力消費実態データの分析ー1万5千軒の住宅 HEMS データの分析結果に基づく電力消費分析ー 本田 智則（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 主任研究員）</p>
	<p>3B-3 住宅を対象としたデマンドレスポンスの実証実験 田中 洋一（東邦ガス株式会社 商品開発部 課長）</p>
	<p>3B-4 時間帯別料金によって家電利用行動は変化するのか？ー調査観察データによる行動変容分析ー 西尾 健一郎（電力中央研究所 社会経済研究所 主任研究員）</p>
	<p>3B-5 環境性能を有する住宅の選択と居住者満足に関する研究ースマート住宅の受容可能性についての社会心理学的考察ー 鷺津 明由（早稲田大学 社会科学総合学術院 教授）</p>
	<p>3B-6 設計者と施主の環境意識共有のためのコンテンツ作成 新富 凌汰（東京大学大学院 工学系研究科 修士）</p>
	<p>3B-7 大阪ガスにおける業工用省エネ ICT サービスの取り組み 木村 浩康（大阪ガス株式会社 エネルギー事業部 ビジネス開発部 ESP チーム 課長）</p>

(3) ポスターセッション（発表 50 分、質疑応答含む）

1) ポスターセッション A（会場 412）

1A 日常生活における背景的価値観・意識構造と電力消費量の関係 大塚 彩美（横浜国立大学大学院 環境情報学府 修士）
2A 食器洗浄に関する情報提供の意識・行動変容効果 荒木 葉子（新渡戸文化短期大学 生活学科食物栄養専攻 准教授）
3A 中学生の食生活に関する省エネ教育による意識・行動変容効果 奈良 英代（藤女子中学校・高等学校 技術・家庭 家庭科教諭）
4A 実験集合住宅 NEXT21 における省エネライフスタイルの変容に関する研究 志波 徹（大阪ガス株式会社 リビング事業部 計画部 技術企画チーム）
5A 停電時自立システムの実証試験結果(NEXT21 実証試験) 平井 友之（大阪ガス株式会社 エンジニアリング部 係長）
6A 環境行動変容のための建築のアフォーダンスに関する研究－階段利用を促進させる建物エントランスのアフォーダンスに関する調査－ 青柳 光（九州大学 人間環境学府空間システム専攻 修士）
7A 日米の省エネ意識の比較－BECC における省エネ行動プログラムの動向を通じて－ 大石 幸奈（東京大学大学院 工学系研究科 修士）

2) ポスターセッション B（会場 422）

1B 環境意識と電力ピークシフト 平湯 直子（武蔵野大学 経済学部 講師）
2B 東京都北区「ごみ減量モニタリング調査」から見るごみ削減に関する行動変容効果 久松 裕子（東京家政大学 家政学部 助教）
3B 既存マンションにおける省エネルギーに関するアンケート調査結果－家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究 その 2－ 吉田 一居（東急不動産 次世代技術センター 上席研究員）
4B 既存マンションにおけるエネルギー消費調査結果－家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究 その 3－ 阿部 寛人（東京都市大学大学院 環境情報学研究科 修士）
5B 1 次エネルギー消費量の削減に効果的な省エネ給湯システムの検討 辻 英之（東京ガス株式会社 リビングマーケティング部 商品開発グループ 統括）
6B 食生活における省エネ行動変容ステージモデルに応じた教育・支援策による行動変容効果 赤石 記子（東京家政大学 家政学部 講師）
7B 『省エネ行動スタート BOOK』を活用した授業実践 岩瀬 正幸（共立女子大学 非常勤講師）